

会 議 報 告 書

会議名	第13回 第2次21世紀矢板市総合計画 策定検討委員会
日 時	平成22年10月6日(水) 午後7時00分～8時50分
場 所	市役所 2階 本館会議室
出席者	市 鈴木政策班長 政策班 赤羽主幹、和田副主幹、手塚主査(記録) 策定委員 8名(別紙名簿のとおり)

1 開 会 19:00

開会及び資料の確認

2 会長あいさつ

みなさん、こんばんは。今回もやっぱり雨でしたね。また、私事で恐縮ですが10月11日と14日にとちぎテレビの「栃木ブランド情報番組」で「たかはら材」を紹介します。もし、良かったら見てください。これからも、色々なものを利用して、みんなで矢板の良いものをPRしていければと思います。今日もどうぞよろしくお願いいたします。

* 栃木ブランド情報番組「栃木のきらめき」

10/11 19:15から (再) 10/14 20:00から

3 検討事項

○基本計画(重点項目)について(グループワーク)

前回まで、まちづくりの重点項目(5項目)の内容について、グループに分かれて検討いただいた。今までにみなさんから出された意見をまとめたので、今日は、その内容を項目ごとに確認する作業とその中で特に不足している分野(事業)の補填を行っている。タイトルや事業展開の中での並び順なども含めて検討して欲しい。

特に、学校教育や道路整備に対する項目が足りないと思うので、様々な視点でご意見をいただきたい。最終的なまとめの作業になるので、限られた時間ですがご協力をお願いしたい。



資料に追加を希望する項目

②教育重視のまちづくり

校庭の芝生化

論語教育

教育方針等の周知

ふるさと矢板に愛着を持たせる教育

③子育て・医療環境の充実と高齢者の生きがいづくり

認知症ネットワーク

高齢者医療（介護も含む）の充実

夜間小児科窓口の常時設置

④公共交通機能の拡充

道路整備促進 バリアフリー化など質の向上

路上の街頭を増設（まちを明るく）

⑤豊かな自然環境の利活用

秘湯めぐり

○その他

若者に出会いの場を提供 ⇒ 少子高齢化対策の一環 等



定住促進（人口増）対策

矢板市に住みたいと思わせるために何が必要か？

- ・ ターゲットを誰に絞るかによって、採るべき施策が違ってくる。
若い人・・・子育て支援、子どもの医療費助成（現物給付）、住宅支援など
高齢者・・・医療・介護施設等の充実、生涯学習機会の充実など
その他、税制優遇・働く場所（雇用）の確保等は世代を共通した必要施策である。
- ・ ごみ処理施設に付加価値を持たせればよい。例えば、最新の技術を駆使した施設にその熱を利用した温泉、プール、フィットネス、レストラン等を併設する。



今後の進め方（事務局説明）

今日いただいた意見を基に案を修正し、次回は、今まで検討してきた「重点項目」について、まとめたものを最終確認していただく予定です。

重点項目についての検討を行うのは、次回が最終となります。今後、細かい施策を作っていく訳ですが、その進め方については今後検討していきたい。

次回は10月28日（木）に開催する。

開催日近くなったら通知する。

4 閉会 20:50